

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 石川県金沢市立不動寺小学校  
 種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中等教育学校  
 教員養成  技術/職業教育  
 その他 ( )  
 住所 〒920-0173  
石川県金沢市不動時町イ33  
 E-mail : hudouji-e@kanazawa-city.ed.jp  
 Website : http://www.kanazawa-city.ed.jp/fudouji-e/  
 児童生徒数：男子 62 名 女子 87 名 合計 149 名  
 児童・生徒の年齢 6 歳～ 12 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

4. 活動内容

- (1) 1年間の主な活動内容について記載願います。  
 ※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

## テーマ「わが町不動寺・ふるさと不動寺」

### 1. 活動内容

#### 3年「森の学習～森と友だち」

3年生は学校の裏山を活用して、しいたけ栽培を中心とした里山利用の学習を行っている。森林再生課や地域の方々の協力を得て、2年時の3月にしいたけの菌をうえ、その後のしいたけの成長を観察してきた。成長を観察する中で、しいたけの生育しやすい環境やどんな世話が必要かを学び、1年を通して活動してきた。

また、森林が健全に保たれるために、どのような手入れが必要で、どのような自然の営みがあるかも学び、子ども達は森づくりの大変さと大切さを感じていたようだった。

1月には講師を招いて収穫したしいたけを料理し、子ども達はその新鮮な旬の味覚を楽しんだ。

#### 4年「石川の伝統工芸を伝える～人々の願いを感じとろう～」

4年生は金沢の伝統工芸を学ぶ中で、特に二俣の和紙づくりについて深く調べた。まずは自分たちが牛乳パックやトイレットペーパーを使った紙漉を行った。材料や作り方から自分たちで調べ、実際に紙漉を行うことでその難しさに気付いたようだ。この体験から「二俣和紙の職人さんの作る紙と自分たちの作った紙との違いについて調べたい」という関心を持たせた。

そして、実際に二俣町の斉藤さんの工房を訪ね、自ら体験したり、作業の苦勞などについて聞き取り調査を行ったりして、伝統工芸職人の技について学んだ。子ども達は職人さんのすいた紙の薄さに驚き、その技の巧みさを知るとともに、現在は二俣和紙の職人さんが僅か3人であることを知り、伝統工芸の技を引き継ぐ難しさにも気付いたようだ。

また、学校の裏山の粘土を利用し、登り窯を使って、焼き物づくりも体験した。

#### 5年「古代米作りから見えるふるさと不動寺」

不動寺地区では、ふつうの米の他にも「古代米」という品種の米の栽培も行われている。そこで、地域の人の田を借りて、地域の方々の手伝いや援助を受けて、自分たちも米作りを体験してみようと学習に取り組んだ。手作業による田植え、稲刈りやはさがけの作業など、実際に体験してみて、収穫に至るまで様々な苦勞や工夫があることを学んだ。

また、収穫した古代米をPTAのバザーで販売し、商品として売るためにどんな工夫をしなくてはいけないかも学ぶことができた。

さらに、古代米収穫後のわらを使って縄ない体験もした。ボランティアの方々に教えてもらいながら、何とか縄を絞ることができた。米を食べるだけでなくわらも捨てずに生活にいかすということ、体験を通して学ぶことができた。

#### 6年「不動寺の歴史をさぐる」

不動寺地区は古代・中世の頃から栄えた地区であり、歴史的な伝承話もいまだに残されている。そこで、6年生は昔の不動寺小学校の様子や校区の町の名前の由来、城址や寺院などの歴史的な建造物について調査を行ったり、文献を読んだりして調べ上げた。調査活動では、地域の方々にインタビューしたりアンケートをとったり、具体的な事実を集めることができた。国語科の学習と関連し、それぞれの町のガイドブックの中に調べたことを紹介する学習も取り入れた。実際に歩いて回ったり、地域の方の話の聞いたりして、地域への愛情もわいたようだ。また、獅子舞や祭りなど地域に継承されている行事についても調べ、自分たちがこれから受けついでいきたいという思いをもつことができた。

### 2 成果と課題

#### (1) 児童の考え方の変容や新たな行動について

前年度の学習発表会を受けて、どの学年も見通しを持って学習に取り組むことができた。また、校区の自然や人々とふれあう充実した体験活動を行うことによって、ふだん何気なく過ごしている地域を見直す機会となり、「わが町不動寺・ふるさと不動寺」という意識を児童なりに感じ、地域への愛着と誇りを持つことができたようだ。

ただ、4つの段階のうち「知る」「関わる」「広める」に比べて「考え行動する」がまだ弱い。より探求心を深めていくことができるような学習構成や手立てが必要である。

## (2) 学習内容の充実について

本校の学習内容にはこれまでの蓄積があり、かなり完成された形であるが、検討を加えて、より深めていこうとした。しかし、どの学年も昨年度をほぼ踏襲した内容となった。

次年度は「ESD カレンダーを作成する中で、教科との関連を深める」「校内研修会を行い、アイデアを出しあう」などの方策が必要である。

## (3) 情報の発信について

学習発表会は一学年下の児童や保護者、他校に行い、相手を意識しての発表の場となるように取り組み、どうすればわかりやすく伝えることができるか工夫する姿を見ることができた。また、玄関に掲示板を設置し、学習した内容を掲示したり、ホームページ上に公開することもできた。

ただ、より多くの保護者、地域の方々にも、広めることができるよう時間の設定を検討していきたい。

他校との交流は1学年だけにとどまったが、小中一貫教育の進捗とあわせて中学校区内の小学校との交流を探っていきたい。

## (2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）

時間外活動の時間を使用

ユネスコクラブの活動として実施

その他（ ）